

令和元年度施政に関する基本方針

世界に羽ばたく国際都市 泉佐野

ひとを支えひとを創り賑わいを創る

問合先 政策推進課

施政方針は抜粋したものです。
全文はホームページ (http://www.city.izumisano.lg.jp/kakuka/koushitsu/seisaku/menu/sisei_hoshin/) をご覧下さい。

千代松市長は、6月12日の定例市議会で、令和元年度の施政に関する基本方針を表明しました。



去る5月1日、天皇陛下の皇位継承に伴い元号が「平成」から「令和」に改まりました。人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つという意味が込められた「令和」が始まり、幾重にも重なる希望を胸に抱きつつ、新たな時代が幕を開けました。

祝賀ムードが高まる中、国の動きとしましては、全世代型社会保障への転換を図るべく、堅調な経済成長を背景に「成長と分配の好循環」によって、教育無償化等を実施し、「一億総活躍社会」を創り上げていくとされています。また、少子化などによる人口減少や高齢化の進展を克服し、活力溢れるまちとなるための「地方創生」については、地方への支援が継続されることから、本市としましては「泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、第1期の最終年としての総仕上げに積極的に取り組んでまいりる所存であります。

一方、大阪府におきましては、国際博覧会の誘致に成功し、「2025日本国際博覧会、大阪・関西万博」の開催が決定いたしました。その開催目的に「国連が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)が達成される社会をめざす」ことを掲げており、本市も総合戦略をはじめとした様々な施策を推進することで、SDGsの目標達成の一翼を担ってまいります。また、4月7日に行われました統一地方選挙の結果を受け、大阪都構想の機運が再燃しつつある中で、東京とは異なる個性・新たな価値観を有した「東西二極の一極」として、「副首都・大阪」の確立と発展に向けた戦略を推進するものとしてまいります。

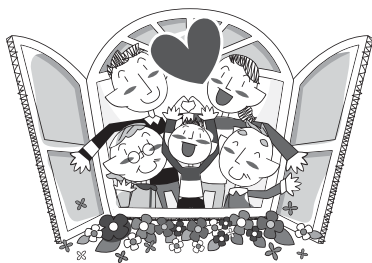
本市におきましては、財政状況としまして、平成25年度決算での財政健全化団体からの脱却後、黒字決算を堅持し

ているものの、普通会計決算の経常収支比率は依然として100%を上回っており、経常的な支出を経常的な収入で賄っていないという財政の硬直化をもたらす状況であります。今後も地方債の残高を多く抱え、高水準の公債費負担が継続し、地方交付税制度の改正や社会保障費の増加など不確定な要素も多いことから、財政の硬直化をさらに招くことが予想されます。

こうしたことから、財政運営では「中期財政計画」に基づき、黒字決算の維持・継続を図るため、歳出面では限りのある財源を最大限に効率的かつ効果的に活用するための事業の選択と集中を進めてまいります。歳入面では、市税収入の確保をはじめ、市有財産の有効活用や創意工夫による新たな財源の確保に取り組んでまいります。また、「地方創生」につきましては、国からの交付金をはじめ、基金の活用など、その財源の確保に努めてまいります。

併せて、今年度は第5次泉佐野市総合計画がスタートいたします。新しい総合計画では、「国際都市」としてひとまちなちも飛躍することをめざした将来像を示しており、この先、本市の強みや特性をさらに発展させ、持続可能なまちづくりを推進してまいります。

今後とも市民サービスの低下を招くことなく、市民ニーズを反映した行政施策などに対応できるよう、市民のみならずご理解、ご協力を賜りながら、ネクストワンとなる、いちばんのまち 泉佐野をめざして、一生懸命取り組んでまいります。



※すべての取組は、ホームページでご確認ください。

地域の強みを生かし、賑わいを創り出すまちづくり

【観光】

- （一社）泉佐野シティプロモーション推進協議会の観光地経営を担う人材を育成するために、専門的人材を招聘し、戦略策定などを担う人材を養成します。
- 犬鳴山エリアの多言語看板の整備、QRコードによる多言語観光案内や防災情報提供によるコンテンツの充実、地域商店などのキャッシュレス対応の拡充などを図ります。
- インバウンド誘客の促進や町会などで開催される盆踊りへの支援、ナイトタイムエコノミーの推進などにより、新しい観光コンテンツの造成に取り組みます。
- 日本文化体験などエンターテインメントを楽しむことができる施設整備をりんくうタウンエリア内にて検討します。
- 全国物産フェアの開催や広域観光周遊ルートなどの構築について検討します。
- 「日根荘遺跡」が文化庁の「日本遺産」認定を受けたことにより、地域に点在する文化財を一体的に活用、発信する目的で、様々な事業を展開し、地域の振興に繋がります。

【国際化】

- 既に友好都市提携を結んでいる都市とは、さらなる交流を深めるとともに、中国山東省威海市をはじめ広く友好都市提携をめざします。
- 「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」のホストタウンとして、選手団の事前宿泊受け入れや市民との交流事業の準備を進めます。
- りんくうタウンにおいて、地域活性化総合特区に指定されている国際医療交流の拠点づくりを引き続き推進します。

●国際会議などのMICE誘致に向けた取組により、観光者の周遊性や利便性を向上させ、さらなる国際化および活性化を推進します。

【産業】

- 昨年の台風21号で、農業施設の被害を受けた農業者に対し、引き続き支援を行います。
- フィッシュアマンズワールド構想区域のより一層のにぎわいづくりに努めます。
- 中心市街地の活性化とそのエリアマネジメントに取り組むまちづくり企業「バリュー・リノベーションズ・さの」を核として、行政と商店街をはじめとする関係者が連携し、課題解決を図るとともに、雇用創出の場として、事業所の誘致も視野に入れて取り組みます。
- 「泉州タオル」の生産量日本一に向け、業界、産官学との連携をより一層強化し、効果的なプロモーションに取り組みます。

【雇用・労働】

- 都市間連携による就労支援カレッジ事業をさらに拡大して実施し、きめ細やかな就労支援および雇用の底上げに取り組みます。
- 出入国管理及び難民認定法の一部改正を踏まえ、今後外国人労働者を受け入れていくに当たり、労働環境などの整備に取り組みます。
- 女性などの活躍推進を図るため、働き方改革の推進と、日本SDGsモデル構築に向けた取組を深化させます。

快適で住みやすいまちづくり

【道路・交通】

- コミュニティバスおよび観光周遊バスは、運賃無料での運行を継続します。
- 都市計画道路泉佐野土丸線は、事業認可を取得し用地買収を進めます。
- 都市計画道路熊取駅西線、熊取駅西1号線は、来年度末の完成をめざして事業を推進します。
- 南海本線泉佐野8号踏切の拡幅は、今年8月頃の完成をめざし工事を進めます。
- 関西国際空港と京奈和自動車道を結ぶ「京奈和関空連絡道路」の早期実現に向け、取り組みます。

【公園・緑地】

- 公園施設の適正な維持管理に努めます。
- 「泉佐野南部公園」は、スポーツの拠点および災害時の防災公園として、適切に管理、運営します。また泉佐野丘陵緑地などを結ぶ樫井川沿いの河川管理道路において、「かわまちづくり計画」に基づく事業を推進します。
- 末広公園は、老朽化した公園施設の安全確保や公園の活性化を目的に、大規模な改修工事の実施設計を進めます。

【上下水道】

- 将来にわたって安全で良質な水を安定的に供給し、健全な経営を持続することを目標として事業運営を行います。
- 老朽化した配水管や重要給水施設への配水管の耐震化を計画的に進めます。
- 水道料金の支払方法として、クレジットカード支払いなどのキャッシュレス化を進めます。
- 汚水整備は、事業量を倍増し、下水道人口普及率の更なる向上に努めます。
- 雨水整備は、浸水対策ポンプを年次的に整備し、市内の浸水被害の解消と軽減を図ります。
- 下水道事業は、来年度からの地方公営企業法適用に向け、円滑に移行できるよう準備を進めます。

【住宅】

- 昨年の台風21号により被害を受けた住宅について、引き続き改修工事の支援金や除却工事に対する助成を行います。
- 定住・移住促進の一環として、「住宅総合助成事業」や「空家バンク制度」「住宅リフォーム助成制度」を実施します。
- 新たに町会・自治会加入を条件とした地域ポイント「さのば」の付与制度を実施します。
- 耐震化の促進では、耐震診断、設計、改修に対する助成や、同時施工するリフォーム工事、耐震性のない木造住宅の除却工事に対する助成を継続します。
- 空家を利活用するための耐震化工事やリフォーム工事、除却工事に対する助成金を増額します。条件付きで特定空家を寄附していただき、市が除却する制度を実施します。
- 空家の所有者が不存在の場合に対する相続財産管理人制度の活用など、地域に悪影響を及ぼす空家の解消に努めます。
- 市営住宅の整備について、耐震性が低く、浴室の無い住棟の建替事業の準備を進めます。

【市街地整備】

- 市域全体の公園配置などの都市計画の見直しを行います。
- 令和4年度からの特定生産緑地制度移行に伴い、生産緑地所有者への周知に努めます。
- 熊取駅西地区は、良好な市街地の形成を大阪府や熊取町と連携しながら進めます。
- 泉佐野東駅前交通広場の立体利用により、駅周辺の活性化を誘導します。
- 南海「井原里」駅の山側改札口の新設に着手し、バリアフリー化を進めます。
- 地籍調査を今年度から取り組み、円滑な都市基盤整備に資するよう進めます。



今年度のおもな取組

ひとを豊かに育むまちづくり

【子ども・子育て】

- 要保護児童対策地域協議会の機能強化により、虐待の未然防止に努めます。
- こども食堂に取り組み団体のネットワーク化を進め、こどもの居場所づくりを推進します。
- 幼児教育無償化に伴い、給食費の無料化を実施することにより、保護者負担の軽減を図ります。
- 子どもたちの安全な居場所確保に向け、留守家庭児童会の施設増改築などによる整備を進めます。
- 「第3次ひとり親家庭等自立促進計画」を策定し、総合的な施策を展開します。
- 妊婦全員への面接および各種相談・実情把握などを行い、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援に努めます。



【学校教育】

- いじめ・不登校問題について、各中学校区へのスクールソーシャルワーカーの配置など、専門家や関係機関との連携を柱に支援を行います。
- 「いじめ防止等に関する条例」を制定し、市トータルでの取組を進めるとともに、中学校生徒指導充実加配を順次実施します。
- 学習指導・生徒指導両面の充実を図るため、小中一貫教育の実施を視野に入れつつ、小中連携教育の推進に資する施策の検討を進めます。
- ALT（外国語指導助手）の拡充により、英語科・外国語科授業の充実を図るとともに、引き続き、「まなびんぐサポート事業」の有効活用を努めます。
- 小学校体育専科教員の配置などにより、子どもたちの運動意欲を高めるとともに、中学校課外クラブについては、部活

動指導員の配置などにより支援します。

- 「未来を紡ぐ子どもの絆プロジェクト事業」について、子どもたちによる東北被災地訪問事業を新たに実施します。
- 就学援助では、「新入学準備金」に続き、その他援助項目についても国基準へ引き上げ、経済的理由によって就学が困難と認められる児童生徒の就学奨励に努めます。
- 高校入学時における経済的負担の軽減を図るため、「高校入学準備金給付制度」の本格実施に向けた取組を進めます。
- 「泉佐野市防災行政無線を活用したこども見守りアナウンス」放送を行い、家庭や地域の協力をいただきつつ通学路の安全確保に努めます。
- 教職員の働き方改革について、より子どもの指導に専念できる時間を生み出すよう、校務支援システムの導入などにより事務と会議の効率化を図ります。
- 年次的に実施してきた学校プール整備事業は、4校で着工するほか、新たに上之郷小学校、末広小学校および第三中学校で事業を開始します。同じく、年次的に整備を進める校舎棟へのエレベーターの設置については、5校で着工します。
- 学校の体育館などは、災害時には避難所としての重要な役割を担うことから、過去、避難所開設の頻度の高かった学校から順に、今年度から3か年をかけ、空調の整備を行います。
- 学校教育に支障のない範囲で施設開放の拡大を図るため、全ての中学校グラウンドへの夜間照明の設置を進めます。

【生涯学習・スポーツ】

- 「いつでも」「どこでも」「だれでも」学べるまちづくりを推進します。
- 図書館における郷土資料の整備や電子資料の活用を進めます。
- 本市出身のトップアスリートの応援と、新たなトップアスリートの育成に努めます。
- 市民総合体育館・健康増進センターは、安全で快適に利用できる施設をめざし、順次設備の更新を行います。
- 青少年への学習と憩いの場を与えることを目的に、青少年の自主活動支援などの事業を展開し、健全な居場所づくりに努めます。

すこやかで、ひとつながり支え合うまちづくり

【地域福祉】

- 地域のあらゆる住民が、「自助」・「互助」の役割を果たしながら「我が事」として地域活動に参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながり、住民一人ひとりの暮らしと、いきがい、地域を共に創っていく「地域共生社会」の実現をめざします。
- 複合的な課題を丸ごと受け止める、全世代型・全対象型包括支援センターの設置を進め、市民にとって身近で分かりやすい相談窓口および相談支援体制を整備します。
- 広域連携のメリットを生かした福祉サービスの向上に取り組みます。

【高齢者福祉】

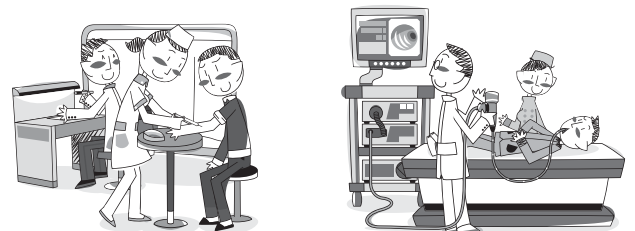
- シルバー人材センター支援事業などにより、高齢者が安心して暮らせる、そして健康で生きがいを感じることでできるまちづくりに努めます。
- 高齢者などとその家族が地域で安心して生活することができる環境を整備するため、「認知症高齢者等個人賠償責任保険事業」を実施します。
- 介護サービスを必要とする人に必要なサービスが提供されるよう、適切な事業運営に努めます。

【障害者福祉】

- 本市の障害者計画及び障害福祉計画、障害児福祉計画である「いずみさのあいあいプラン」の基本理念「ともに みとめあい ささえあい あいにつつまれるまち 泉佐野」の実現に向け、様々な関係機関と連携し、本計画を着実に推進します。

【健康・医療】

- 「健康都市宣言」のもと、市民一人ひとりが主役となり、健康寿命の延伸を図るため、健康を支える環境づくりを進めます。
- 第2次健康増進計画および食育推進計画の一層連携した形での策定に向け取り組みます。
- 15歳までのインフルエンザ予防接種の一部助成や、風しんの追加的対策として抗体保有率が他に比べて低い世代の男性に抗体検査・予防接種を実施します。
- 高齢者肺炎球菌予防接種をさらに5年間継続実施します。
- 各種検診事業については、胃カメラ検査の導入など、さらなる検診機会の拡大を図ります。
- りんくう総合医療センターと地元医師会・医療機関や行政機関との連携を推進し、地域全体での効率的な医療の提供を推進できるように努めます。
- 母子医療や救急医療体制の充実に努め、安心して医療を受けられるための支援を行い、健康を支える環境づくりを推進します。



※すべての取組は、ホームページでご確認ください。

安全でひとと環境にやさしいまちづくり

【消防・防災】

- 昨年の各種災害の教訓を生かし、防災に関する様々な分野の施策を総合的かつ計画的に進め、災害に強い強靱なまちづくりを進めます。
- 消防団の活動拠点となる上之郷分団車庫や大土分団大木車庫の工事を進め、南中分団車庫の設計に着手します。
- 昨年の台風21号で住宅が全壊するなど大きな被害を受けた世帯に対し、被災者生活再建支援金を支給します。
- 自衛隊の音楽隊と防災イベントを行い、自衛隊との連携強化を図ります。

【環境衛生・環境保全】

- 昨年12月に供用開始した合葬式墓地の円滑な運営に努めます。
- JR「長滝」駅前公衆トイレの整備を進めます。
- 来年度から権限移譲となる「大気汚染防止法」関係事務に向けて取り組みます。
- 高齢者雇用の観点も兼ねた「まち美化清掃活動」を継続します。
- 設立した「一般財団法人泉佐野ガス」から、市内公共施設に都市ガスの販売を進めます。

【廃棄物処理】

- 「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」および「生活排水処理基本計画」に基づき、適正なりサイクルと資源循環の推進に努めます。
- 新ごみ処理施設の建設に向けて取り組みます。
- し尿及び浄化槽汚泥処理事務委託を熊取町から受け入れる準備を進めます。

【生活安全】

- アポ電という新たな手口の悪質商法などの被害が多発しており、消費生活センターの認知度向上と、その機能の強化・充実を図ります。
- 消費者教育推進大使に委嘱された公式キャラクター「イヌナキン」を活用し、消費者教育および啓発活動の推進に努めます。
- 高齢者が運転免許証を自主返納した際に、泉佐野地域ポイント「さのぼ」を付与する事業を引き続き行います。



市民と協働し、すべてのひとが輝けるまちづくり

【地域共助・地域コミュニティ】

- 町会活動における偶発的な事故などを補償する保険制度を取り入れます。
- 地域コミュニティの発展に顕著な功績のあった町会などへの感謝状贈呈や、広報での町会・自治会の活動紹介など、さらなる町会・自治会活動の活性化を図ります。
- 「(仮称) 上之郷地区コミュニティセンター」の来年4月オープンに向け、整備を進めます。
- 「市民防災の日」に大防災訓練として、市域全体で、タオルを使った安否確認訓練や避難訓練などを市民と共に行います。
- 今年度も防犯カメラを100カ所設置するとともに、引き続き町会・自治会による防犯カメラ設置支援を行います。

【人権・多文化共生】

- 「泉佐野市人権教育推進計画」に基づき、市民や各種関係団体との協働を強化します。
- 市民一人ひとりの参加による人権行政施策を推進します。
- 総合生活相談では、相談者に寄り添った対応に努め、体制

の充実にも努めるとともに、各相談機関と連携して総合相談機能の充実を図ります。

- 北部市民交流センターに北部公民館が、南部市民交流センターには青少年センターが加わったことで、人権・教育・文化の複合施設として連携を深め、事業を展開します。
- 「非核平和都市宣言」のもと、人権・平和意識の高い社会環境の形成に努めます。
- 男女共同参画社会の実現に向け、総合的に取り組みます。
- ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメントなどの相談対応やその防止・啓発に努めます。
- ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）や女性の就労継続が整えられるように努めます。
- インバウンドや外国人人口の増加に伴い、受け入れ環境整備における多言語による提供や、分かりやすいデザインなどの公共サインの設置に向けた取組に努めます。
- 多文化共生社会の実現に向け、外国の文化などの多様性を認め、言語、宗教、生活習慣などの違いを正しく理解し、尊重することの重要性の認識を深める取組を推進します。

総合計画の実現に向けて

【挑戦的な自治体経営】

- 「泉佐野」というブランドイメージを高めるため、シティプロモーション活動を積極的に推進します。
- 首都圏在住の泉佐野市にゆかりのある人を対象に、「東京いずみさの会」のネットワークの構築の強化を図ります。
- 産官学民と連携し、市民サービスの向上と経費の削減に向けて効率的・効果的な取組を推進します。
- 市民サービスの充実や効率化を図るため、近隣自治体と分野別に連携を深めます。
- 府からの権限移譲にも積極的に取り組み、行政ニーズに応じた広域的な連携をさらに推進しつつ、市町村合併のあり方を視野に入れて検討を進めます。
- 体制の見直しや組織の統廃合を行い、生産性が高い行政組織を確立します。

【財政基盤の確立】

- 安定した財政基盤を確立するため、地方債残高の減少に努めます。
- 遊休財産の積極的な売却、ネーミングライツなどの税外収入の確保に加え、新たな財源の創出に努めます。

- 「泉佐野市債権管理条例」に基づき、債権の適正な管理に努めます。
- 「公共施設等総合管理計画」に基づき、計画的な施設管理を行います。
- 地方公会計制度により、財政状況の多角的な分析を推進し、健全な財政運営を行います。

【進行管理】

- 多様な手段で市民ニーズを的確に把握し、市政に反映できるよう広聴活動の充実を図ります。
- 「広報いずみさの」やホームページ、ケーブルテレビの行政情報番組「さのテレ！」などを通じて、わかりやすい情報を積極的に発信します。
- 駅前での早朝広報活動を引き続き実施します。
- 市民通報システム「まちレポ泉佐野おせちョ〜」の運用により、市民と行政との迅速かつ正確な情報伝達に努めます。
- 各施策において重要業績評価指標（KPI）を定め、行政評価システムを活用し、機能的な市政運営に努めます。
- 進行管理を分かりやすく市民に示すことで行政の透明性の向上を図り、説明責任を果たします。